

N なか Y よこ タイム

http://palsystem-kanagawayume.lekumo.biz/yume05/ ブログ「なかよこ」で検索 **vol.146**

「日ごろから意識をすることで、実際に災害が起こったとしても行動で被害は減らすことができる」

親子で学ぼう 防災・救急教室



7/26(水)横浜中センターにて「親子で学ぼう 防災・救急教室」を開催しました。防災士の資格を持つ職員を講師に「災害って、なに?」「災害は、減らせる? 減らせない?」そんな質問から始まりました。「自分で考えることが何より防災意識につながる」という説明をみんな真剣な表情で聞いていました。

危険予知の練習として屋外で身近な危険を探しました。(写真右上) 段差や滑りやすい場所などの何気ない箇所から、横浜中センター裏の崖までさまざまな危険を発見しました。そのあと、子どもたちを中心にAEDを使った救命活動を体験しました。参加し



たお子さんたちからは、「心臓マッサージは押すのがむずかしかった」「救助のしかたがわかったからみんなに教えたい」など、体験したからこそその自信や向上心が伝わってくる、頼もしい感想をいただきました! 保護者の方からも「低学年の子どもと参加できる救急教室はなかなかないのでよかった」と好評で、第2弾も期待できそう♪ 災害に対する心構えができ、安心も得られました。ふだんの意識改革につながる貴重な時間でした。(ま)

倒れている人への声掛けや周囲へ助けを呼ぶ方法も学びました。

センター紹介コーナー 横浜中センター長 小田原 靖倫

こんにちは、センター長の小田原です。着任して、早いもので半年が経過しようとしています。今回は、私と同じく4月より人事異動で鶴見センター(営業担当)から横浜中センターの一員となった、渡部職員を紹介させていただきます。本人の意気込みをお聞きください。

「4月より横浜中センターに配属となりました、渡部優(わたべゆう)と申します。組合員みなさんと、地域みなさんのくらしを豊かにできるよう、業務に励んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。」



初挑戦! 梅干し作り

6月に初めてチャック付きの袋を使って試みた梅干し。(詳細はブログもご覧ください) 雨の多い夏でしたがセンターの職員の方にいてねいにお世話していただいたおかげで、なんとか梅干しになりました。ただ塩が表面にういていて、試食するとジャリジャリします。みなさん、こういうご経験はありますか。



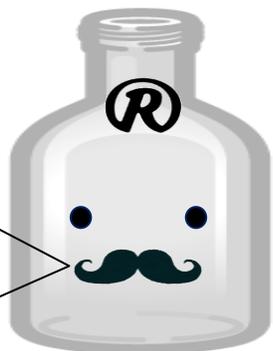
塩がういた理由は小田原の生産者に聞いてみようと思います。

下の写真は同じようにチャック付きの袋でメンバーが自宅で漬けた梅干しです。ふっくらとおいしそうです。この漬け方なら手軽に楽しめていいねという感想がありました。梅干し作りは面倒と思っている方に試してほしい方法です。(の)



< 8月の回収状況 > 横浜中センター 46.8%でした!

わしはリユースびんだ。使い終わったらよーく洗って、乾かしてからパルシステムに戻しておく。自治体の資源回収に出してしまうと破碎されてしまうのだ。わしを20~30回繰り返し使うと環境負荷が軽減されるのだ。協力たのむぞ!
*ふた、注ぎ口、ラベルは各自自治体の分別ルールに従って処分しておく。



編集後記

夏バテが無いまま寒くなり、次は風邪の心配をしております。健康が一番と言いながら病気のことばかり考える矛盾とともに生きています。(や)